

瀬戸内海の貧栄養化

■ 趣 旨

瀬戸内海沿岸には多くの人々が生活し、豊かな自然と共生しながら豊富な自然資源に恵まれ、瀬戸内海特有の社会・文化を形成してきました。

しかし、1960年代～80年代にかけての急速な経済発展のもと、瀬戸内海は「瀕死の海」と呼ばれるほど、海洋汚染が進行しました。このような瀬戸内海の自然環境を再生するために、国や沿岸府県は「瀬戸内海環境保全特別措置法」の施行をはじめとする厳しい規制を行ってきました。その結果、瀬戸内海の水質はある程度改善されてきましたが、未だに生物多様性・生産性が高い豊穡な海を取り戻すには至っていません。

このような状況の中、特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議では、瀬戸内海環境保全知事・市長会議から委託を受け、平成23年度から3か年計画で、「瀬戸内海を豊かな里海とするための栄養塩・物質循環に関する研究」をテーマとし、企画した小課題について公募研究を行うハイブリッド方式で研究を進めています。今年度は最終年にあたることから、このワークショップでこれまでの研究成果を発表し、議論を深める場にしたいと思います。

■ 日 時

平成25年11月25日(月) 13:30～17:00

■ 場 所

兵庫県民会館 パルテホール (11階)
神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131

■ 主催等

主 催 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議
共 催 瀬戸内海環境保全知事・市長会議
後 援 兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会
公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

■ 参加等

定 員：120名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。)

参加費：無料

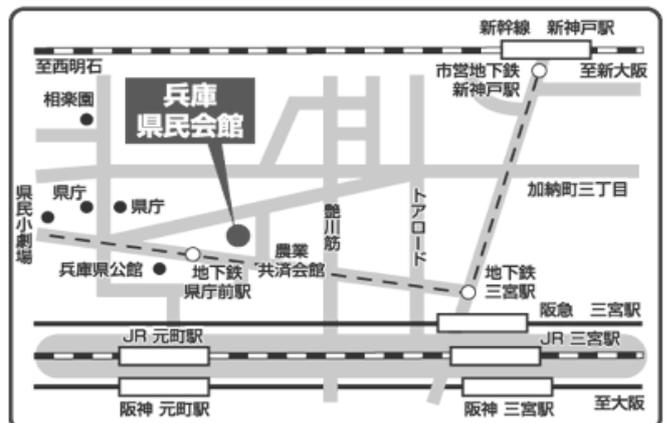
参加申込方法

11月19日(火)までに、裏面の参加申込書にご記入の上、FAX、郵送、Eメールにて、事務局までお申込下さい。

(参加証等は発行しませんので、お申込のうえ当日会場へお越し下さい。)

■ お申込・お問い合わせ先

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議事務局
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
人と防災未来センター東館5階
(公社) 瀬戸内海環境保全協会内 (担当：矢内)
TEL 078-241-7720 FAX 078-241-7730
Eメール：web@seto.or.jp



プログラム、参加申込書は裏面にあります。

JR・阪神「元町」より徒歩7分
地下鉄「県庁前」東1・2出入口/バス停「県民会館前」下車すぐ

プログラム

- これまでの研究経過について 13:30~13:40
松田 治（広島大学名誉教授、特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議顧問）
- 個別発表 13:40~16:30
- (1)陸域からの栄養塩供給管理方策
藤原 建紀（京都大学名誉教授）
- (2)栄養塩循環を高める干潟・藻場の造成等
多田 邦尚（香川大学農学研究科 教授）
- (3)海底からの溶出栄養塩の定量化と制御法
駒井 幸雄（大阪工業大学工学部環境工学科 教授）
- 休 憩（15:40~15:50） -----
- (4)まとめ
柳 哲雄（九州大学特任教授、特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議理事長）
- 総合討論 16:30~17:00
コーディネーター：松田 治
パネリスト：藤原 建紀、多田 邦尚、駒井 幸雄、柳 哲雄

平成25年度瀬戸内海研究会議 瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ

参加申込書 (FAX 078-241-7730)

日時：平成 25 年 11 月 25 日(月)

場所：兵庫県民会館 パルテホール

(参加証は発行しません。定員を超えた場合のみご連絡いたします。)

所 属	フリ 氏 名	ガナ 住 所	TEL & FAX

ご提出頂いた個人情報は本事業の目的以外には利用しません。